

外国人向け観光ガイド育成へ

このプロジェクトの
実行委員会(第1回)
が26日、新宮商工会議
所で行われた。崎草浩
・明治大学経営学部教
授を委員長に、明治大
学関係者と当地の観光
関係者合わせて8人が
委員を務める。今年度
中は、新宮市を中心
に三重県熊野市など周辺
地域との連携強化、さ
らにカリキュラムの策
定など実施準備を進め
る。



第1回実行委員会の様子

同大学では、これま
で公開講座等を通じて
再教育の必要性を認識
し、自ら再教育を受け
たいと願う社会人の学
び直しニーズに対応し
てきた。今回の取り組
みでは、学び直しをあ
きらめていたり、その
必要性に気付いていな
い人たちの潜在的な学
び直しニーズを掘り起
すことが目的。
外国人向け観光ガイ
ドの育成をテーマとし
たのは、当地が世界遺
産登録後、外国人観光
客は倍増したが、「おも
てなし」できる人材
が少なく、また、退職
期を迎えた団塊世代を
地域の観光戦略に生か
そうとする国の動きに
呼応するため。
来年度は4月に、企
業等を定年後、新たに
地域での就労を考えて
いる人ら50人を募集す
る予定。6月〜翌年1
月まで講座を行う。目
標として、▽外国人観
光客とのあいさつ、定
型的な英語で観光案内
ができる▽おもてなし
の意義を理解し、情報
発信ができる能力を身
に付ける▽修了者が次
年度以降の講師として

当地の世界遺産を訪れる外国人観光客に、「おもてなし」できる観光ガイドの育成に官民協働で取り組むことになった。地域の生涯学習や相互交流などの面で新宮市と連携協定を結んでいる明治大学(リバティアカデミー)は今年度、文部科学省委託事業として、定年退職後の社会人らの再チャレンジを支援するため、学び直しの実践的教育プログラムを実施。この一環で来年度、新宮市をはじめ那智勝浦町や田辺市、三重県熊野市や尾鷲市までの広域で、再チャレンジに意欲をもった受講者を募り、ガイド要請講座を行う。

明大が新宮市などと連携して

退職後の再チャレンジを支援



発行所 紀南新聞社
〒647-0043
新宮市緑ヶ丘2丁目1番33
郵便振替00960-8-123211
編集部
TEL0735-22-2803
FAX0735-23-1873
営業部
ゼロストーリー事業部
TEL0735-22-2553
FAX0735-23-0032
勝浦支社
〒649-5335
那智勝浦町築地7丁目3番17
TEL0735-52-8030
FAX0735-52-8040
御浜支局
〒519-5204
御浜町阿田和4926-5
TEL05979-2-2200
FAX050-3667-521
紀南新聞HPアドレス
http://www.kinan-newspaper.co.jp

建立時の美しさ取り戻す

花清
花は(株)花清
新宮市神倉一丁目六の五
TEL 06906
FAX 00962

後任の育成にあたるこ
とができるーなど。
講座の最終段階で
は、身に付けた能力を
ブックレット作成やイ
ベント企画案として取
りまとめる演習や、熊
野古道の観光ポランテ
▽委員長 崎草浩
委員 林雅彦(明治大
学法学部教授)、福辻京
子(新宮市観光ガイド
の会会長)、ティム・デ
ッドマー(アメリカ出
身、22年間新宮市在
住)、楠本晴美(NPO
仁美(同))
法人MIKUMANO
代表(田辺市)、江崎
美智子(那智勝浦町観
光ガイドの会理事)、三
石学(東紀州観光まち
づくり公社観光振興室
長)、鈴木俊朗(新宮市
商工観光課長)、栗林圭
(新宮市商工観光課)
▽事務局 松尾智己
(明治大学学術・社会
連携部社会連携事務室
エクステンションケル
ーブ・リーダー)、瀬川